



平成 20 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 アールビバン株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 澤 克 巳
(コード番号 7523 JASDAQ)
問 合 せ 先 管 理 部 総 務 グ ル ー プ 柴 田 航
電 話 番 号 03-5159-7177

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は下記のとおり特別損失を計上することになりましたので、その概要をお知らせするとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 21 日に公表いたしました平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及び内容

当第 2 四半期累計期間の個別決算において関係会社の財政状態が悪化したことにより、関係会社貸付金に対して貸倒引当金繰入額 163 万円を特別損失に計上いたします。

2. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

(1) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A)	3,600	190	200	60	4.36
今 回 修 正 (B)	3,740	390	450	230	16.71
増 減 額 (B-A)	140	200	250	170	—
増 減 率	3.9%	105.3%	125.0%	283.3%	—
(参考)前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	4,507	508	558	192	13.90

(2) 個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A)	1,120	△ 220	△ 160	△ 110	△ 7.99
今 回 修 正 (B)	1,260	△ 40	80	△ 100	△ 7.27
増 減 額 (B-A)	140	180	240	10	—
増 減 率	12.5%	—	—	—	—
(参考)前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	1,849	△ 32	69	△ 178	△ 12.87

3. 修正の理由

売上高につきましては、アート関連事業、金融サービス事業については引続き顧客優待展「ジャパンアートエキスポ」をはじめ、効率を重視した催事を実施し、新規顧客開拓に主眼をおいた営業活動に注力した結果、当初予想を上回る見込みです。

リゾート事業については、ホテルの稼働率が計画に対し未達であったため、料飲部門及びセラピーの売上が当初予想を下回る見込みです。

健康産業事業については、「カルナ フィットネス&スパ」は着実に会員数を増やしているものの、「入会金無料キャンペーン」により入会金収入が減少した事もあり当初の予想を下回る見込みです。

営業利益につきましては、大型のイベント会場から、週末を中心としたショッピングセンターでの催事開催にシフトし会場費等の削減に努めたことにより、当初予想に対し連結で200百万円増の390百万円、個別では180百万円増の△40百万円となる見込みであります。

経常利益につきましては、為替差益が当初の予測を上回った事もあり250百万円増の450百万円となる見込みであります。

四半期純利益につきましては、当初予想に対し、連結で170百万円増の230百万円、個別では、関係会社に対する貸倒引当金繰入額163百万円を計上したことにより10百万円増の△100百万円となる見込みです。

なお、通期の業績予想の見通し（連結・個別）につきましては、現時点での変更はございません。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上